

急性期リハビリテーションと対象疾患

今回のリハビリニュースは特別号です。
リハビリテーションとはどういう意味があるのか、
早期リハビリテーションまた急性期リハビリテーションとはどんなことを行うのか、
さらに、リハビリテーションを必要とする疾患とは何かなど
リハビリに関してまとめてみました。



image photo

リハビリテーションとは？

「リハビリしましょう」という言葉を耳にすることがあると思いますが、「リハビリ」とは
どういう意味があるのかご存じでしょうか。リハビリ＝専門職による機能回復訓練と
とらえることが多い印象ですが、リハビリテーションという言葉には広い意味があり
ます。リハビリテーションを英語表記にするとRehabilitationとなり、ラテン語のre
(再び、戻す)とhabilis(適した、ふさわしい)から成り立っています。つまり、単なる機能
回復ではなく、「患者が可能な限り元の生活を取り戻すことを目指す」という意味です。
「リハビリ」という言葉には、障害自体を軽減するような機能訓練だけでなく、生活
の中で積極的に身体を使っていきましようという意味が込められています。たとえ身体
の不自由が残っても安心して生活できるように支援していく仕事が、理学療法士、
作業療法士、言語聴覚士という専門職です。

リハビリテーションの目的

大きく分けて以下の3つがあります

- ◎**身体機能の回復**:運動療法や物理療法などを通じて筋力や関節可動域の改善を目指します。
- ◎**日常生活動作の自立**:食事、入浴、排泄などの日常生活動作の改善を目指します。
- ◎**社会生活への復帰**:就労、趣味、地域活動など社会生活への参加を支援します。

PT、OT、STとは

PT



PT＝理学療法士のことです。

日常生活に必要な基本動作(寝返り、
起き上がり、立ち上がり、移動など)の回
復を目指します。具体的には関節可動域
の拡大、筋力強化といった運動機能面の
治療や動作練習、歩行練習などを行い日
常生活の自立をサポートします。

OT



OT＝作業療法士のことです。

応用的な動作や社会的適応能力の回
復をサポートします。食事やトイレ動作、
入浴や家事など日常生活に必要な動作
の回復を目指し、「その人らしい生活」を
目指した訓練を行います。

ST



ST＝言語聴覚士のことです。

話す、聞く、食べる、認知するといった
機能がうまく働かない方に対して、適切
なリハビリテーションを実施し、自分ら
しい生活が送れるよう支援します。

早期リハビリテーションとは

手術や様々な疾患により寝たきりにある方に対し、状態に応じてできるだけ早期にリハビリ介入することです。医師の指示のもと、早期に
座位から立位、歩行へ導く一連のリハビリを行います。早期リハビリを行うことにより、肺炎・尿路感染・深部静脈血栓症・褥瘡などの合併症を
予防し、また関節可動域制限や筋力低下などの廃用症候群を予防できます。

急性期リハビリテーションとは

脳卒中や骨折などの急な病気やケガの発症から数日後～1か月くらいの期間で行われるリハビリテーションです。令和6年の診療報酬改定
により、日常生活動作能力低下、認知機能低下、特定の医療行為を必要とする患者及び感染対策を必要とする患者に対して「急性期リハビリテー
ション加算」が新設されました。当院でも重症患者に対して早期からリハビリテーションを行い、寝たきり予防や後遺症の軽減に努めています。



リハビリテーション対象疾患

リハビリテーションの対象となる疾患には、次のようなものがあります。

脳血管疾患等リハビリテーション

脳梗塞、脳出血、クモ膜下出血、脳挫傷、急性脳症など、脳の損傷
に対して障害を持つ方にリハビリテーションを行います。

運動器リハビリテーション

骨折、断裂、関節症など、運動器に対して
何らかの障害を持つ方に、運動療法や物理
療法などを行います。



呼吸器リハビリテーション

肺炎腫、肺炎、神経や筋肉の病気による呼
吸機能の低下など、呼吸機能に対してリハビ
リテーションを行います。呼吸筋・胸郭ストレ
ッチや呼吸トレーニングなどを行います。



心大血管疾患リハビリテーション

心筋梗塞、心不全、狭心症など心疾患に
対してリハビリテーションを行います。再発
予防や安全な社会生活を取り戻すための
生活指導、動作指導も行います。



摂食嚥下および言語リハビリテーション

「食べる」「飲み込む」など食事に関して何らかの障害がある方にリハビリテーション
を行います。食事や水分摂取がうまくできない方に嚥下機能訓練を行っています。
また、脳血管障害の後遺症等で言葉がうまく出ない方に、言語訓練を行います。



福西会病院のリハビリテーションについて

福西会病院では理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の3職種を一つのチームとして、病棟毎にチーム
編成を行い、円滑なリハビリテーションの提供に努めています。現在、42名の専門スタッフが在籍して
おり、患者さんのリハビリテーション業務に従事しております。

当院は4階～6階までが急性期病棟で、日々変動する疾患の状態に応じた評価や治療を中心に行い、
専門性を活かしたリハビリテーションを365日体制で提供しています。3階は地域包括ケア病棟で、ご自宅
や施設での自立した生活を見据えて日々リハビリテーションを行っています。

「誠実・信頼」の理念のもと、病気や障害に対するリハビリだけでなく、心理的サポートや社会資源の活
用法などの情報提供も行っています。

また、急性期病院ですので、初めて病気になった方、初めて入院を経験される方も多く、今後の生活に不安
を感じたり、術後の痛みや慣れない入院生活で気持ちが沈んだりする方がたくさんいらっしゃいます。
そんな方々にとって、リハビリが少しでも不安が軽くなるような癒しや心の支えになれば幸いです。



福西会病院
リハビリテーション科
課長 石見 美保子